

提出 2011 年 9 月 27 日

会合議事録

研究会名：原子分解能 X 線励起ホログラフィー研究会

日 時：2011 年 9 月 23 日 17:30 -19:00

場 所：富山大学五福キャンパス GQ 会場 (物理学会(物性系)の期間中)

出席者：虻川 匡司 (東北大学)、内富 直隆 (長岡技科大)、岡田京子 (SPring-8/JASRI)、大門 寛 (奈良先端大)、高橋 敏男 (東大)、林 好一 (東北大学)、細川 伸也 (広島工大)、松井 文彦 (奈良先端大)、松下 智裕 (SPring-8/JASRI)、松田 巖(東大)、吉信 淳 (東大)、若林 裕助 (大阪大)、Hu Wen (JAEA) ((計 13 名))

議題：進展状況などの報告&今年度以降の研究会の活動方針の策定

議事内容：各研究者が以下のテーマについて講演を行い、議論を行った。

1. 「BL07LSU DELMA での顕微・回折分光の展開について」(松井)
BL07LSU での取り組みおよびサイエンスの成果についての講演。
2. 「InP 基板の上にエピタキシャル成長した Mn 添加 ZnSnAs₂ 薄膜の室温強磁性」
(内富)
物質的・構造的解析と室温強磁性が発現する機構の解明へ向けた講演。
3. 「X 線 CTR 散乱による表面界面原子イメージング」(高橋)
放射光を利用した成果とこれらを 3 次元に発展させることを目指した講演。
4. 「原子分解能ホログラフィーの周波数フィルター」(松下)
強力な解析・シミュレーションツールを目指した新手法を検討した講演。
5. 「原子分解能ホログラフィー研究会の今後の企画について」(林)
サイエンスの追求・発展および今後の裾野拡大を検討した。